



京都大学でPepperと地球温暖化やSDGsについて学ぼう！

7月30日（金）10時30分に、センターに集合し、小学生を対象に、夏休み特別企画として、京都大学課外学習してきました。猛暑の中、市バスに乗って行きました。バスから降り、京都大学に入ると、とても大きな敷地で建物も大きいので、子ども達は興奮気味でした。待ち合わせの時計台まで、汗だくで、到着すると、素直な子供たち、どこに行くの？何時に行くの？どこでご飯食べるの？と質問攻めでした。京都大学生のスタッフの方が来られ、食堂に案内してくれました。コロナ禍の中、距離をもって、各自、食べ物をとり席につきました。子ども達は、初めての大学の食堂に少々、緊張気味で、ゆっくりご飯も食べ、気分が落ち着くと、また元気になっていました。



昼食後、研究室に案内して頂きました。日本を代表する「ごみ」「環境教育」研究チームの一人である京都大学の浅利美鈴准教授による小学生に優しい説明を頂き、参画企業の専門家、Softbankの方も支援に来られていました。

それからはPepper君を使って、SDGsなお話を質問形式で進めて頂きました。子ども達は、素直に思っていることを書いたり、質問したり、やはりPepper君に触りたくて、発言が活発でした。地球温暖化の深刻な問題に対して、何をすれば防げる・ひとりでできる事に何が有るなど身近に考えを書き出し、発言し、子ども達にとって分かりやすい勉強となりました。解散後はエコな取り組みをされているリユース、要らなくなった文房具や小物を頂きました。このようなイベントは素直な子ども達の心に響き、とても意味のある体験でした。帰りは、少し疲れたのか、バスの中では眠たそうにしている子達もいました。この機会に夏休みの自由研究に役立てて欲しいです。

